

第10回（2003年度）全国銀行学術研究振興財団賞

<法律分野>

生熊 長幸 大阪市立大学大学院法学研究科教授

[表彰理由]

金融に関わる法制として重要な不動産担保法における一連の業績が高い評価を得ている。

[主要著書・論文等]

『民法Ⅱ—物権〔第2版〕』（共著）有斐閣、1994年

『新版注釈民法（15）〔増補版〕』（幾代通＝広中俊雄編）（共著）有斐閣、1996年

『新版注釈民法（9）』（柚木馨＝高木多喜男編）（共著）有斐閣、1998年

『執行妨害と短期貸借』有斐閣、2000年

『物上代位と収益管理』有斐閣、2003年

『即時取得の判例総合解説』信山社出版、2003年

「わが滌除制度の矛盾と滌除制度廃止論」岡山大学法学会雑誌 44巻3・4号、1995年

「不動産担保と大震災（阪神・淡路大震災—法と対策）」ジュリスト 1070号、1995年

「建築請負代金債権による敷地への留置権と抵当権（上）（下）」金融法務事情 1446号・1447号、1996年

「建物貸借契約終了時における敷金・保証金・権利金の取扱い」広中俊雄教授古稀祝賀・民事法秩序の生成と展開、有斐閣、1996年

「根抵当権付債権譲渡円滑化臨時措置法（特集 金融機関の再生と早期健全化）」ジュリスト 1151号、1999年

「短期貸借保護の制度改正の視点（上）（下）—担保・執行法制改正に寄せて—」ジュリスト 1216号・1217号、2002年

「担保・執行法制の改正問題（4）短期貸借制度の改正に関して（上）（下）」NBL738号・739号、2002年

「短期貸借保護廃止と賃料債権への物上代位・収益管理制度は両立するか（上）（下）」金融法務事情 1660号・1661号、2002年

以上